

JWEF 2015 産業技術動向勉強会記録 第1回「ものづくりの変革」

主催：JWEF（日本女性技術者フォーラム）

開催日時： 2015年7月8日（水） 18：00～20：00

会場： 富士通(株) 本社（汐留シティセンター内）

参加人数：（連続参加申込） 20名
（この回のみ参加申込） 3名
（その他関係者、講演者を含む） 7名
計 30名

テーマ概要：ものづくりの変革

ドイツの「インダストリー4.0（第4次産業革命）」や米国のインダストリアル・インターネット・コンソーシアム（IIC）などの動きに見られるように、IoTなどの活用により、ものづくりが大きく変貌しつつある。デジタル化が及ぼす変革への対応を中心に、我が国の製造業をめぐる現状と今後の課題について、政策的視点および実際にこの問題に携わる企業の視点から概観する。

プログラム：

1) 経済産業省あいさつ

経済産業省 産業人材政策室・経済社会政策室
室長補佐（総括担当） 梶 直弘 氏

6回連続勉強会の第一回目にあたり、企画にご参加いただいた経済産業省からご挨拶を頂戴した。

2) 講演1

「IoT社会における製造業の変革」

経済産業省 川森 敬太 氏

製造産業局 ものづくり政策審議室 室長補佐

3) 講演2

「富士通が考える次世代のものづくり」

富士通株式会社 小林 泰山 氏

富士通株式会社 テクノロジ&ものづくり本部 共通生産技術センター
システム技術部 マネージャー。2000年富士通(株)入社。以来、生産
技術の企画・開発(制御、計測、実装など)に従事。

参加者アンケート概要：

全体満足度 “やや満足”（満足、やや満足、どちらとも言えない、やや不満、不満、
の5段階から選択）

講演レベル評価 いずれも“普通”（易しい～難しい の5段階から選択）

講演内容評価 いずれも“どちらかといえば有用”（有用～有用でない の5段階から選択）

感想（要約）

- ・普段かかわりのない分野だが、興味深く、自分の仕事とどうつながるかを考えながら聴講。
- ・これだけの少人数で直接お話を伺える機会に恵まれて率直な疑問も解消でき、有益。
- ・企業講師の講演は、具体的で現実的。説明もわかりやすい。
目的と方策がとても分かりやすかった
- ・参加者の意識高く、議論が面白かった。

以上

JWEF 2015 産業技術動向勉強会記録 第2回「情報セキュリティ」

主催：JWEF（日本女性技術者フォーラム）
開催日時：2015年9月1日（火） 18:30~20:30
会場：日本IBM(株) 箱崎本社 1F AV ルーム
参加人数：(連続参加申込) 12名
(この回のみ参加申込) 14名
(その他関係者、講演者を含む) 2名
計 28名

テーマ概要：情報セキュリティ

スマート・デバイス、ソーシャル・ネットワーク、クラウド・コンピューティングなどが普及し、私たちの生活も仕事も、IT および情報ネットワークなしでは成り立たなくなっている。実世界のあらゆるモノがネットワークにつながり、企業や組織、国や地域の境界を越えて飛び交うビッグデータが大きな価値を生む一方で、情報セキュリティ上のリスクは急速に増大している。世界規模で日々進化・巧妙化し続ける新たな脅威に対する各国の官民の取り組みや、我が国の今後の対応の見通し、脅威に立ち向かうテクノロジーの動向などを概観しする。

プログラム：

1) 講演 1

「IoT 社会に向けたセキュリティ」

瀧島 勇樹 氏

経済産業省 商務情報政策局 情報政策課 課長補佐

2) 講演 2

「企業が直面するサイバーリスクと次世代テクノロジーの取り組み」

大西克美 氏

日本アイ・ビー・エム株式会社 グローバル・テクノロジー・サービス事業
技術理事

1986年日本アイ・ビー・エム入社。IBM Academy メンバー。IPJSJ 正会員。大学、研究機関担当のエンジニアとして、UNIX システム、インターネット基盤のプロジェクトを担当。2000年前半より、ITセキュリティのアーキテクトとして、金融機関等のコンサルティング、アーキテクト設計などで活躍。日本アイ・ビー・エムにおけるセキュリティ第一人者として、外部講演、政府活動、執筆活動など幅広く活躍中。現在は、自動車及びIoT (Internet of Things) システム に対するサイバー・セキュリティのプロジェクトを担当中。

参加者アンケート概要：

全体満足度 “満足” (満足、やや満足、普通、やや不満、不満、の5段階から選択)

講演レベル評価 いずれも “適切” (易しい~難しい の5段階から選択)

講演内容評価 講演 1 “どちらかといえば有用”、講演 2 “有用”

(有用~有用でない の5段階から選択)

感想 (要約)

- ・タイムリーな話題で参加できてよかった。
- ・もう少しテクニカルなお話や視点もお聞きしたかった。
- ・講演 2 は、セキュリティのプロによるもので、事例・経験豊富で分かりやすく刺激的。講演 1 はざっくりばらんな物言いが面白かった。

以上

JWEF 2015 産業技術動向勉強会記録 第3回「標準化戦略・知財戦略」

主催：JWEF（日本女性技術者フォーラム）
開催日時：2015年10月14日（水） 18:30~20:30
会場：日本ユニシス㈱ 本社 29階中会議室
参加人数：（連続参加申込） 9名
（この回のみ参加申込） 13名
（その他関係者、講演者を含む） 2名
計 24名

テーマ概要：標準化戦略・知財戦略

グローバル化が進展する中で、知的財産基盤や標準・認証により国際的な競争優位がもたらされるなど、その重要性が増している。我が国企業の国際市場での競争優位を強固にする国際標準確立のための戦略や、知的財産の適切な保護及び活用により我が国のイノベーションを促進する特許法の改正など、最近の産業界および政府の取り組みについて概観する。

プログラム：

1) 講演 1

「知財戦略」

徳永怜子氏

特許庁制度改正審議室 審議企画係長

(当日資料は特許庁 HP

http://www.jpo.go.jp/torikumi/ibento/text/h27_houkaisei.htm

で公開。)

2) 講演 2

「標準化戦略」

出浦淑枝 氏

コマツ開発本部 業務部 規制・標準グループ GM

プロフィール：1988年 コマツ入社 研究本部中央研究所。2000年 社団法人日本建設機械工業会 出向 業務部技術課長。2002年 コマツ 開発本部 業務部 規制・標準グループ建設機械の安全・環境に関する規制・規格実務に従事。2015年より現職。日本建設機械工業会 国際規制規格部会長。ISO TC127（土工機械技術委員会）SC3 国際議長、TC127 国内委員長。JWEF 個人会員。

参加者アンケート概要：

全体満足度 “やや満足”（満足、やや満足、普通、やや不満、不満、の5段階から選択）

講演レベル評価 講演1,2共に“適切”（易しい～難しい の5段階から選択）

講演内容評価 講演1,2共に“どちらかといえば有用”

（有用～有用でない の5段階から選択）

感想（要約）

- ・通常業務とはあまり接点のない議題だが興味深い内容だった。
- ・知財戦略に関しては、国としての戦略面の話をもっと聞きたかった。

以上

JWEF 2015 産業技術動向勉強会記録 第4回「環境」

主催：JWEF（日本女性技術者フォーラム）
開催日時：2015年11月25日（水） 18:00~20:00
会場：日産自動車株 グローバル本社
参加人数：（連続参加申込） 9名
 （この回のみ参加申込） 9名
 （その他関係者、講演者を含む） 4名
 計 22名

テーマ概要：環境

経済成長と環境保全を両立させていくことが重要という観点から、環境政策についても、グローバルな観点から地球温暖化対策や3R政策に取り組む必要がある。COP21に向けた世界各国の枠組みの構築や、再生可能エネルギー、革新的構造材料、二酸化炭素回収・貯留（CCS）等の我が国の優れた技術力による国際貢献、そのさらなる普及に向けた政策を概観する。また、民間企業の具体的な取組みについても紹介する。

1) 講演 1

「環境政策の変遷 ～地球温暖化問題を中心に～」

多田克行 氏

経済産業省 産業技術環境局 環境ユニット 環境政策課 課長補佐

2) 講演 2

「日産自動車の環境対応」

朝日弘美 氏

日産自動車株式会社 技術企画部 エキスパートリーダー

プロフィール：1983年日産自動車株式会社入社、2000年環境・安全技術渉外部

主担、World Business Council for Sustainable Development (WBCSD)

Sustainable Mobility Project に参画、2009年企画室次長 グローバル環境企画

オフィス担当、環境中期行動計画「ニッサン・グリーンプログラム2016」を

実務責任者として策定、2013年4月より現職。

参加者アンケート概要：

全体満足度 “満足”（満足、やや満足、普通、やや不満、不満、の5段階から選択）

講演レベル評価 講演1,2共に“適切”（易しい～難しい の5段階から選択）

講演内容評価 講演1,2共に“有用”

（有用～有用でない の5段階から選択）

感想（要約）

- ・講演1,2共に素晴らしいプレゼンだった。特に日産の朝日講師はロールモデルになる。技術を極める女性をもっと出していきたい。
- ・講演1の多田講師のプレゼンは、官側としてはこれまでになく面白かった。COP21の話等、話題性あり、興味深かった。

以上

JWEF 2015 産業技術動向勉強会記録 第5回「国際政治経済動向」

主催：JWEF（日本女性技術者フォーラム）

開催日時：2016年1月8日（金） 18:30~20:30

会場：ゴールドマン・サックス・ジャパン, 47F Boardroom（六本木ヒルズ森タワー）

参加人数：（連続参加申込） 8名

（この回のみ参加申込） 7名

（その他関係者、講演者を含む） 2名

計 17名

テーマ概要：国際政治経済動向

グローバル化の進展、世界のパワーバランスの変化の中で通商政策のあり方にも変化が迫られている。いかにして日本に有利な世界の秩序を構築し、日本の経済成長の基盤の形成につなげるか。世界の動向や日本の立ち位置を踏まえ、世界貿易機関や経済連携交渉等これまでの通商政策を概観するとともに、ルール形成戦略等の新たな通商政策についてもご紹介する。

講演：「対外経済政策」

宮下誠一 氏

経済産業省 通商政策局通商政策課 課長補佐

意見交換会：

経済産業省あいさつ

坂井 萌 氏

経済産業省 経済産業政策局経済社会政策室 室長補佐

参加者アンケート概要：

全体満足度 “やや満足”（満足、やや満足、普通、やや不満、不満、の5段階から選択）

講演レベル評価 “適切”（易しい～難しい の5段階から選択）

講演内容評価 “どちらかといえば有用”

（有用～有用でない の5段階から選択）

感想（要約）

- ・対外経済政策として、日本の成長・諸外国の関係が分かり良かった。
- ・視野が広がった。

以上

JWEF 2015 産業技術動向勉強会記録 第6回「資源エネルギー」

主催：JWEF（日本女性技術者フォーラム）
開催日時：2016年2月10日（水） 18:30~20:30
会場：(株)東芝 スマートコミュニティーセンター4F会議室
参加人数：(連続参加申込) 7名
 (この回のみ参加申込) 5名
 (その他関係者、講演者を含む) 3名
 計 15名

テーマ概要：資源エネルギー

我が国は、エネルギー源の中心となっている化石燃料に乏しく、その多くを海外からの輸入に頼るという根本的な脆弱性を抱えている。東日本大震災以降、新たなエネルギー制約にも直面しており、安定供給・コスト・環境負荷・安全性を基本とした、現実的かつバランスの取れたエネルギー需給構造を実現していく必要がある。足下の状況や取り組みの内容、今後の長期展望について概観する。また、企業におけるこれらの課題への取り組みの実例として、再生可能エネルギー由来のクリーンな水素の活用のための技術、ソリューションなどを紹介する。

講演 1

「東芝の水素社会実現に向けた取り組み」

中島 良 氏

(株)東芝 次世代エネルギー事業開発プロジェクトチーム
サブプロジェクトマネージャー

1982年、株式会社東芝入社。電力・社会システム技術開発センターで燃料電池、超電導機器、廃棄物発電など、新エネルギー・省エネルギー関連の技術開発に従事。2004年より電力システム社燃料電池事業開発室参事、2012年には同室長として家庭用燃料電池エネファームの開発に従事。2014年、次世代エネルギー事業開発プロジェクトチーム発足とともにサブプロジェクトマネージャーとして水素関連の技術開発を統括。また、2015年より東芝燃料電池システム株式会社の取締役を兼任。

講演 2

「エネルギー政策の現状と課題」

荻野洋平 氏

資源エネルギー庁長官官房 戦略企画室 室長補佐

参加者アンケート概要：

全体満足度 “満足” (満足、やや満足、普通、やや不満、不満、の5段階から選択)

講演レベル評価 講演1,2共に“適切” (易しい~難しい の5段階から選択)

講演内容評価 講演1 “有用”

講演2 “どちらかと言えば有用”

(有用~有用でない の5段階から選択)

感想 (要約)

・講演 1

水素に対する理解が深まった。東芝の官民一体の取り組みには頭が下がる。

「水素愛」や意気込みを感じた。内容もよくわかった。水素社会の到来が楽しみ。

・講演 2

内容が良くまとまっていてわかりやすかった。

規制緩和には官側もぜひ取り組んでほしい。

以上